

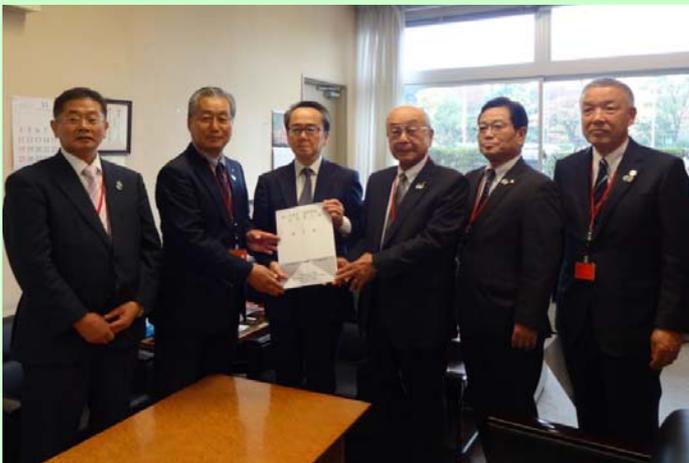
高知県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会高知県協議会 国土交通省・財務省への合同提言活動

平成30年11月9日に「高知県道路利用者会議（会長：楠瀬賢一）」と「道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会（会長：池田洋光）」が、高規格道路の早期整備や高知自動車道（高知～須崎東間）の暫定二車線区間の四車線化、大豊立川地区の早期の全面復旧、社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の充実、平成31年度当初予算確保などについて、国へ提言を行いました。

●提言項目

- 一、地域経済の活性化を図り災害への備えを高めるために不可欠な、高規格道路の早期整備
- 一、平時において利用者の安全性の向上や安定した人流・物流を確保し、大規模災害発生時において交通途絶を防ぐための、高知自動車道（高知～須崎東）暫定二車線区間の四車線化
- 一、高知自動車道（大豊町立川地区）の早期の全面復旧
- 一、地方の道路整備を計画的に推進するための、社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の充実
- 一、将来に長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設するとともに、平成31年度当初予算において、整備に必要な予算の確保及び、道路整備を加速化させるための平成30年度補正予算の早期編成

●国土交通省（池田道路局長）への提言



左から、中平副会長(四万十市長)、池田会長(中土佐町長)、池田道路局長、楠瀬会長(高知県ハヤ・タケ協議会会長)、横山副会長(安芸市長)、岩崎副会長(大豊町長)



【提言概要】

- 高規格道路の早期整備
 - ・北川村の国道493号では、7月豪雨時に大規模な土砂崩れが発生し、住民の生活やゆずの出荷等に支障をきたした。
 - ・地域産業の活性化や住民の安全・安心な暮らしを確保するためには、高規格道路の早期整備が不可欠。
- 暫定二車線区間の四車線化
 - ・平成30年7月豪雨で高知県の人流・物流の大動脈である高知自動車道の立川橋が流失した。
 - ・下り線を活用した対面通行によって早期に通行再開となり、四車線化の有用性を身を持って実感。
 - ・大規模災害への備えを高める暫定二車線の四車線化をお願いします。
- 社会整備総合交付金の充実
 - ・四国の重要港湾で最も取扱貨物量の多い須崎港には、1日約150台の大型車でけい石が運ばれており、来年度からは木材の輸出を計画。
 - ・これらは全て国道494号を利用するが、狭隘な区間が多く効率的で安定した輸送には、社会整備総合交付金の充実による計画的な道路改良が不可欠
- 防災・安全交付金の充実
 - ・平成30年7月豪雨時には、国道195号の危険箇所を中心に斜面崩壊や落石などが多発。
 - ・各市町村管理橋梁では早期の対策が必要な橋梁が数多くあり、農作物の収穫などに影響を及ぼしている。
 - ・地域住民の安全・安心な暮らしなどを支えるための防災・安全交付金の充実による着実な防災対策や老朽化対策が不可欠。

池田道路局長からは「地域の実情がよくわかりました。必要な道路整備をしっかりと進めていきます」と心強いお言葉を頂いた。

地方創生を実現するためには、地方の道路整備は不可欠です。
私達は、ストック効果を拡大するとともにさらに高め、経済の活性化につなげます。